

御会式知恵袋

雑司ヶ谷の





はじめに

二〇一三年夏、私たちは雑司が谷案内処での展示会「わいわいぞうしがや調べ」雑司ヶ谷の御会式」を開催するにあたり、御会式連合会に所属する各講の代表者にインタビューを行いました。このガイドブックは、そのインタビュー結果と展示の内容をまとめたものです。

歴史が古く設立経緯など詳しいことを知っている方が既に亡くなられている講もあり、詳細不明な点も多くありますが、ご容赦ください。また、ガイドブックの中で、鬼子母神とそれに由来する講の名前に関して「鬼」という字を使用していますが、正しくは上の点がない「鬼」と書きます。

このガイドブックを通して雑司ヶ谷の御会式をより楽しんでいただけたら幸いです。

※このガイドブックは、豊島区の助成を受けて作成しています。

目次

三 御会式と御会式連合会について

各講の紹介

- ・藍鼓
- ・青葉睦
- ・表参道睦会
- ・鬼熟蓮
- ・紅嶺
- ・雑二講
- ・大門宮元講
- ・高田南睦
- ・高田若睦
- ・千登世若睦
- ・東池母神会
- ・東部睦会
- ・燈友会
- ・鵬聲
- ・南和會
- ・波羅門
- ・三嶽中島講
- ・南池一若葉睦
- ・目白台睦会
- ・目白睦鬼神会
- ・目白睦商工睦



各講の変遷

ポン女生が撮った御会式写真展

おもしろ小話

万燈行列ルート

展示会の様子とご意見・ご感想

- 二七
- 二八
- 二九
- 三〇
- 三一
- 三二
- 三三

“わいわいぞうしがや”とは



日本女子大学の学生有志が二〇一二年に設立した、雑司ヶ谷のまちを考えるグループです。豊島区の助成を受けて活動しています。

設立初年度には、住民の皆さんとまち歩きをしたり、地域の魅力を共有するための「雑司が谷いいところ写真展」を開催したりし、二〇一三年度は、雑司ヶ谷の御会式に着目して活動してきました。

活動を始めた当初から、御会式を含め地域での様々な活動に参加させていただいています。

今後も地域の方とのつながりを大切に、活動していきたいと思えます。

雑司ヶ谷の御会式知恵袋
2014年3月31日発行

発行・企画
わいわいぞうしがや
E-mail yzoshigaya@gmail.com
HP yzoshigaya.web.fc2.com

編集
古賀碧 泉水花奈子 三浦茜 宮脇理紗

協力
インタビュー協力者の方々
御会式連合会
法明寺近江住職
雑司が谷案内処
日本女子大学家政学部住居学科葉袋研究室

御会式とは

御会式とは、正式名称を「御報恩会式」といい、本来は宗派に関わらず祖師の命日に行う法会を指した。

とくに日蓮宗では開祖である日蓮上人への信仰が篤く、日蓮宗の御会式では盛大に日蓮上人を弔った。そのことが多くの人の印象に残ったため、今日では御会式というと日蓮宗の行事として一般に広く知られている。

御会式は日蓮上人の速夜である十月十二日に日蓮上人が入滅した池上本門寺を中心に全国の日蓮宗の寺で行われている。

「雑司ヶ谷」の御会式

一、鬼子母神信仰

雑司ヶ谷の御会式では本来、日蓮宗の寺である法明寺の行事として行われ、日蓮上人を祀る安国堂に参拝するものである。

しかし鬼子母神堂に参拝するものだと認識している人も多く、御会式が雑司ヶ谷の土地の神様である鬼子母神を参拝する地域の祭りとなっている。

二、御会式期間

本来、御会式とは、日蓮上人の法事にあたる行事のため、どの寺でも一日限りの行事である。

しかし、雑司ヶ谷における御会式では江戸時代には一か月間、明治〜昭和ごろには一週間かけて行われていた。戦後は参加者にサラリーマンが増え、連日の参加が困難になる人が多くなったため三日間で行われるようになり、現在に至る。

御会式連合会

since 1975~

設立経緯

当時、御会式への関心が高まり、愛好者が増える情勢の中で、今後さらに御会式を発展させていくために、若者が中心となり、互いの交流を深め、経験を交換し、御会式についての研究をしあうという趣旨で集った。

特色

寺や信者の指示に関係なく、地域の団体が連絡関係を持ったことは御会式が行われる地域では初の試み。

(御会式新聞No. 6参考)

連合会のはたらき

地元講社同士の連携と親睦を深めると共に雑司ヶ谷の御会式がトラブルなく円滑に行われるように運営されている。

御会式の運営のうち、法明寺での参拝に直接関わることを除いた、練り歩きなどの調整（警察・消防・警備会社）を行っている。また十七日は連合会が主催の地元講社が中心に参加する練供養を実施している。

御会式当日の様子を撮影した写真コンテストも行っており、御会式を地域の行事として盛り上げることに貢献している。

参考
奥井麻子「雑司ヶ谷の御会式大祭調査」祭りが生み出す街のまじり
日本女子大学卒業論文

十六日：地元講社による地元の人へのあいさつ回りとしてそれぞれのルートの練り歩き

十七日：御会式連合会主催の地元講社中心の清土鬼子母神からの練り歩き

十八日：法明寺が主催となる本来の日蓮宗の御会式

十八日に行われる法明寺主催の練り歩きには地元講社だけでなく、遠方から日蓮宗の多くの講社が参詣にくる。

江戸時代では大名や奥女中が参詣に来る度にお祭りをしていたために一か月も御会式の期間を充てていたのかもしれない。

三、独立した講社

講社とは、まず先達を中心となり集まった人たちが自由に祭りの参詣を行う集団のことを呼んだ。だが、これらの講社は戦後に解体が進み、寺が中心となって講社が作られたために各寺に一講社の形態が多く見られるようになった。

しかし、雑司ヶ谷では地元の中でいくつもの講社が法明寺から独立して存在し、雑司ヶ谷に住む人も、かつて住んでいた人も参加しており、地元の繋がりが強い。地元講社からなる御会式連合会というのも、御会式をよく知る近江住職ですら雑司ヶ谷以外では聞いたことがないと言ふ。

雑司ヶ谷ではいろいろな人が自分のできる形で御会式に関わり人間関係が生まれ、御会式以外の様々な場面でも、人々が繋がっていく。



月	活動内容
一月	役員会・新年会
二〜六月	月二回の役員定例会のみ
七月	盆踊りの打ち合わせ（当日の警備や整備） 盆踊り
八月	万燈用の柳の発注 全体会議・抽選会の準備
九月	全体会議（今年の安全対策・諸団体の打ち合わせ）
十月十六日	御会式初日の町内まわり、お礼回り 万燈が通る時の注意喚起の立て看板を明治通り、目白通り、不忍通りに立てる。（約百枚！）
十月十七日	清土鬼子母神を発つて、不忍通り、目白通りを通り、鬼子母神堂、法明寺安国堂に向かって練り歩く
十月十八日	池袋西武の前を発つて、明治通り、目白通りを通り、鬼子母神堂、法明寺安国堂に向かって練り歩く 立て看板の撤去
十月十九日	フォトコンテストの審査会
十一月	役員会・顔合わせ
十二月	